

I 事業の総括

本会は、1 生涯スポーツ社会の実現、2 競技力の向上、3 次代の健全育成という三つの基本方針の下、加盟団体及び関係機関・団体と連携協力し、公益4事業、収益2事業及び本会運営事業を積極的に推進する計画としていた。事業展開においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業において規模を縮小するなどの影響も受けたが、オンライン会議の導入をはじめ、新しい生活様式に基づく事業展開をすることが出来た。

公1：生涯スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブに関する諸事業を通じてスポーツの魅力を発信するとともに、一般社団法人彩の国SCネットワークと連携し、総合型地域スポーツクラブの活動内容や経営安定の充実に努めた。また、令和4年度から運用が始まる「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の各種規程を制定し、準備を整えた。

公2：競技力向上事業では、「国民体育大会埼玉県選手強化5か年計画」のもと、第76回国民体育大会に臨む計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止という結果となった。また、将来を担うジュニア育成補助事業では、プラチナキッズ発掘育成事業とジュニアアスリートアカデミー事業との連携強化、競技力向上をサポートするための「彩の国アスリートサポートパートナーシップ制度」の構築と、強化支援の充実に努めた。

公3：スポーツ少年団事業では、東日本大震災復興祈念事業をはじめ、県・関東・全国等大会が新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての事業が中止となった。また、スポーツ少年団指導者制度の廃止に伴い、日本スポーツ協会の指導者制度で新設された「スタートコーチ」の養成講習会の中止をはじめ、指導者資質向上のための各種研修会も中止となった。

県内の種目別交流大会においては、中央競技団体発出のガイドラインを基に新型コロナウイルス感染症の予防策を講じた種目のみの開催となった。

公4：スポーツ総合センター運営事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少していた利用者数が、令和2年度の44%から57%に回復したものの、宿泊者数は7.3%から16.2%へと若干回復したものの、宿泊料収入は全体の25%を占めていることから、今年度も大幅な減収となった。

収1：大宮公園スポーツランドは屋外施設のため、新型コロナウイルス拡大前の約87%まで回復してきた。自粛を余儀なくされていた子供たち（特に園児から小学生低学年）の遊びの場として提供出来た。

収2：埼玉アイスアリーナの管理運営は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少していた使用者数が感染拡大前の約89%まで回復したが、過去5年間平均では79%までの回復しかしていない。

Ⅱ 事業報告

公 1 生涯スポーツ振興事業

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進

埼玉県と連携・協力して、地域住民による自主的、主体的な総合型地域スポーツクラブの組織化を図るため次の業務を実施した。

(1) クラブアドバイザーの配置(1名)

総合型地域スポーツクラブの設立や活動及び事務・経理処理等クラブ運営全般について指導・助言ができる者を配置した。(日本スポーツ協会の有資格者等)

(2) 広域スポーツセンター機能推進業務

主に総合型地域スポーツクラブに興味をもち、立ち上げようとしている人やスポーツクラブ等からの電話及び来所相談に対し専門的な助言を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等の要請に応じて会議等に出席し、専門的な助言を行うなどの業務を実施した。

また、総合型地域スポーツクラブ等の活動状況について適宜把握し、総合型地域スポーツクラブの活動実態に関する調査を行った。

ア 総合型地域スポーツクラブ等運営活動支援

(ア) 設立済市町村に対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 設立済の市町村のスポーツ関係担当者等に対し、説明会や会議で、総合型地域スポーツクラブの意義や必要性等を説明した。併せて説明会の出席者等からクラブ設立に必要な情報を収集した。

〔実施回数〕 延べ12回(6市町)

〔実施会場〕 さいたま市、蕨市、富士見市、川越市、春日部市、松伏町が定めた場所及びクラブが指定した会場

〔参加者〕 延べ17名(行政関係者及びクラブづくりに意欲のある者)

〔経費〕 受取参加料：無料

派遣等にかかる費用：無料

(イ) 総合型地域スポーツクラブに対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 クラブアドバイザーの指導・助言を経て設立した総合型地域スポーツクラブの活動状況や運営状況など現地ヒアリングを行い、一層の活性化を図るため指導・助言を行った。

〔実施回数〕 延べ17回

〔実施会場〕 各クラブのクラブハウスや公共施設等

〔参加者〕 延べ23名(クラブの運営に関わる者)

〔経費〕 受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(ウ) 総合型地域スポーツクラブを目指す団体への訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 クラブアドバイザーがクラブ運営の指導・助言を行い、令和3年度は新たに4クラブが設立された。

- ・ NPO 法人春日部トーシェン SC(春日部市)
- ・ NPO 法人スポーツみらい Lab(さいたま市)
- ・ 一般社団法人ふじみスポーツクラブ(富士見市)
- ・ 南古谷総合型地域スポーツクラブ(川越市)

〔実施回数〕 延べ 10 回 (4 クラブ)

〔実施会場〕 各クラブのクラブハウスや公共施設等

〔参加者〕 延べ 12 名(クラブの運営に関わる者)

〔経 費〕 受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(エ) 一般社団法人彩の国 SC ネットワークの活動支援

県内の総合型地域スポーツクラブ相互の連携及び親睦、情報交換を図ることで、地域スポーツの活性化及び生涯スポーツの振興に貢献することを目的に設置された一般社団法人彩の国 SC ネットワークに対し、運営における指導・助言を行った。

・ 総会の開催

〔実施期日〕 令和 3 年 6 月 19 日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者〕 19 クラブ 22 名

〔経 費〕 受取参加料：無料

・ 臨時総会の開催

〔実施期日〕 令和 4 年 3 月 5 日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者〕 27 クラブ 39 名

〔経 費〕 受取参加料：無料

・ ステップアップ研修会

総合型地域スポーツクラブの運営を円滑に進めるため、クラブマネージャー及び事務局スタッフ等の資質向上を図ることで、持続可能な運営体制を構築する機会を提供できた。

〔実施時期〕 令和 4 年 2 月 19 日(土)、令和 4 年 3 月 12 日(土)、
令和 4 年 3 月 19 日(土) 計 3 回

〔実施会場〕 Web 開催

〔参加者数〕 延べ 100 名

〔経 費〕 開催経費：講師謝金

受取参加料：(一社)彩の国 SC ネットワーク会員 無料

(2) 広報活動

ア 総合型地域スポーツクラブに係わる情報提供

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報を基に、各クラブの他、行政担当者やマスメディアなど随時情報提供を行った。

イ ホームページの掲載・更新

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報やクラブ作りのノウハウを本会ホームページに掲載・更新を行った。

2 市町村体育・スポーツ協会連絡会議の開催

〔事業内容〕 地域における生涯スポーツの振興を図るため、市町村体育協会・スポーツ協会との意見・情報交換を行うとともに、関係機関・関係者との連携を強化した。

〔実施期日〕

東部：令和3年6月23日(水) 14:00～

西部：令和3年6月28日(月) 14:00～

南部：令和3年6月25日(金) 14:00～

北部：令和3年6月18日(金) 14:00～

〔実施会場・参加者〕

東部：八潮メセナ(市民会館) 25名(10市3町)

西部：坂戸市入西地域交流センター 43名(12市9町1村)

南部：川口総合文化センター・リリア 28名(12市1町)

北部：寄居町役場 24名(4市6町)

〔経費〕 会場使用料・参加者飲み物代

3 日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会の開催

〔事業内容〕 県内各地域において、スポーツ教室等で指導をする人材を養成する。

(1) コーチ2：専門科目1 競技

ア 空手道

〔実施期間〕 令和3年10月2日(土)～11月27日(土)(6日間)

〔参加者数〕 21名

(2) コーチ1：専門科目3 競技

ア バレーボール(委託事業)

〔実施期間〕 令和3年10月16日(土)～31日(日)(3日間)

〔参加者数〕 57名

イ ソフトテニス(委託事業)

〔実施期間〕 令和3年11月20日(土)～12月12日(日)(3日間)

〔参加者数〕 25名

ウ バドミントン(委託事業)

〔実施期間〕 令和3年10月16日(土)～17日(日)(2日間)

〔参加者数〕 19名

〔受講対象〕 原則として、指導員18歳以上。※競技毎で別に定める。

〔経費〕 支払参加料(個人負担：全競技共通)

コーチ1 共通科目：NHK学園(通信講座)へ直接払い

専門科目：日本スポーツ協会へ取り纏めて支払

4 県民総合スポーツ大会及び

埼玉県駅伝競走大会の実行委員会の設置と支援

〔事業内容〕埼玉県スポーツ振興計画が掲げるスポーツへの県民の多様な関わり方、「する」、「みる」、「きわめる」、「まなぶ」、「ささえる」ことを実践・体感する機会づくりを全県的に取り組むために、埼玉県、埼玉県教育委員会及び関係団体とともに実行委員会を設置し、企画・運営に参画し資金の提供を行なった。

(1) 令和3年度第34回県民総合スポーツ大会の開催

埼玉県実行委員会：埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会、各市町村、各市町村教育委員会、各市町村体育・スポーツ協会、各市町村レクリエーション協会、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

〔実施時期〕通年(参加する団体の大会全てが県民総合スポーツ大会の一部となります)

〔参加人数〕

新型コロナウイルス感染症予防対策等を考慮しての開催となるため、参考値として当初計画の大会数並びに人数を掲載。

ア 競技部門 298 大会 172,297 名

- ・本会加盟競技団体・県高等学校体育連盟大会・県中学校体育連盟大会・県高等学校野球連盟大会・県スポーツ少年団大会・特別支援学校大会・ふれあいピック大会・障害者スポーツ大会関係団体

イ コミュニティー部門 72 大会 20,616 名

ウ レクリエーション団体種目 25 大会 10,965 名

エ 県小体連地区スポーツ大会 101 大会 184,663 名

オ スポーツフェスティバル

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

総計 496 大会 大会参加者総数 388,541 名

〔経費〕 支払助成金：実行委員会経費の負担(150,000 円)

(2) 埼玉県駅伝競走大会

埼玉県駅伝競走大会実行委員会：埼玉県・埼玉県教育委員会・公益財団法人埼玉県スポーツ協会・一般財団法人埼玉陸上競技協会・埼玉県学校体育協会・読売新聞東京本社さいたま支局・さいたま市・上尾市教育委員会・桶川市教育委員会・北本市教育委員会・鴻巣市・鴻巣市教育委員会・行田市教育委員会・熊谷市・熊谷市教育委員会

ア 第5・6部（中学生：兼全国中学校駅伝大会予選）

〔実施期日〕令和3年11月6日(土)

〔実施会場〕熊谷スポーツ文化公園陸上競技場及び特設周回コース

〔参加者〕5部 中学校男子 45 チーム(6区 18.26km)

6部 中学校女子 45 チーム(6区 12.26km)

イ 第1～4部

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔実施期日〕令和4年2月6日(日)

〔実施会場〕熊谷スポーツ文化公園他特設コース

〔参加者〕

1部一般男子	—	チーム(新都心—熊谷6区	42.195km)
2部市町村男子	—	チーム(新都心—熊谷6区	42.195km)
3部高校男子	—	チーム(新都心—熊谷6区	42.195km)
4部高校・一般女子	—	チーム(鴻巣—熊谷5区	20.7km)
	計	—	チーム

〔経費〕支払助成金：実行委員会経費の負担ア・イで2,000,000円

5 「県民スポーツの日」及び「県民の日」への支援

(1) 「県民スポーツの日」(6月第1日曜日)・「県民の日」(11月14日)、公益財団法人埼玉県スポーツ協会創立記念日(2月26日)にスポーツ総合センターのトレーニング場を無料開放。

(2) トレーニング相談の実施

6 スポーツ活動の支援事業の充実

(1) 秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会実行委員会：一般社団法人埼玉県自転車競技連盟・埼玉県・埼玉県教育委員会

〔事業内容〕昭和28年に秩父宮家から「秩父宮杯」を下賜され、令和3年度で69回目を迎える自転車道路競走大会で、本県ゆかりの地である秩父市で開催され、国内トップレベルの選手がエントリーする一般男子の部から中学生の部まで9の種別で実施される。埼玉県は自転車保有率第1位を誇っており、県内の自転車利用の拡大を図っていくなかで、本大会は県民に身近で国内トップレベルの競技を観戦する絶好の機会であり、自転車利用の促進にも大きな影響を与えている大会です。

〔実施期日〕令和3年9月5日(日)

〔実施会場〕秩父市特設周回コース

〔参加者数〕	部門	距離	エントリー数	実走数
	エリート	75.3km	—名	—名
	高校生上級	42.9km	—名	—名
	高校生初級	21.6km	—名	—名
	一般上級	42.9km	—名	—名
	一般中級	42.9km	—名	—名
	一般初級	21.6km	—名	—名
	マスターズ	21.6km	—名	—名

女子	10.8km	－名	－名
中学生	10.8km	－名	－名
9部門		－名	－名

(2) スポーツ活動助成事業

本会加盟団体等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図った。

ア サイニチホールディングス杯

第6回彩の国 Spring フィギュアスケート競技会

〔実施期日〕 令和3年5月2日(日)～4日(火)

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕 選手273名 観戦者他351名 計624名

※一般観覧中止、YouTube ライブ配信の実施

〔経費〕 支払助成金 4,000,000円(一般寄付充当)

イ サイニチホールディングス杯第46回埼玉県室内選手権水泳競技会

〔実施期日〕 令和4年2月23日(水)・27日(日)

〔実施会場〕 セントポールズ・アクアティックセンター

※無観客、YouTube ライブ配信の実施

〔参加者数〕 74クラブ 729名(選手)

〔経費〕 支払助成金 2,000,000円(一般寄付充当)

ウ スポーツ活動(環境整備)支援事業

スポーツ活動に必要な競技用器具機材等の調達や活動する場所の確保などスポーツ環境の整備を行うことに助成する。

エ アイスホッケージュニア(中学生)育成事業(助成事業)

〔実施期間〕 毎月第4日曜日 21時00分から22時30分

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

オ 女子アイスホッケー普及・育成事業

〔実施期日〕 毎月第一・第三水曜夜2回、毎週土日朝 計6回

〔対象〕 県内在住・在学の女子、または県アイスホッケー連盟普及事業参加者で、埼玉選抜等で活動した者。

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

7 スポーツ関係団体運営補助事業の実施

〔事業内容〕 県民のスポーツ活動の窓口となる市町村体育・スポーツ協会及び県を単位とする競技団体に対して、その活動が円滑に行われるように各団体の運営費を補助した。

(1) 本会加盟団体運営補助事業

〔補助金額〕 市町村体育協会・スポーツ協会

40,000円+1月1日推計人口×1.5円(千円以下切り捨て)

(2) 本会加盟競技団体運営補助事業

競技団体：一律150,000円

(3) 学校体育団体等補助事業

〔事業内容〕 本会の他に県を単位とするスポーツ関連の統括団体の県費補助金を取り纏めて手続きをすることにより、円滑な要求活動と事務の効率化を図った。

〔取扱い団体〕 埼玉県学校体育協会・埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟・埼玉県女子体育連盟・埼玉県小学校体育連盟・特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会・埼玉県スポーツ推進委員協議会、7団体

8 顕彰事業

(1) 埼玉県スポーツ賞

〔事業内容〕 埼玉県の体育・スポーツの振興・発展に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、埼玉県スポーツ賞を贈りその栄誉をたたえた。

〔表彰の種類〕

功労賞：長年にわたり体育・スポーツの指導に精通し、著しい功績をあげ、他の者の模範である者で、地域の体育・スポーツの普及・発展に寄与した者。

優秀選手賞：一般及び中学生・高校生(またはチーム)が、オリンピック大会・国際大会及び全国大会等で優勝した者(またはチーム)と3位まで入賞した者(またはチーム)

栄光賞：国際競技会・国内競技会において、特に傑出した競技成績を収めたチーム・団体(栄光旗)と個人(栄光楯)

会長特別賞：世界大会等で日本を代表し、特に顕著な活躍をした本県所属及び本県ゆかりで本会加盟競技団体が認めた者、また選考委員会が認めた者。

奨励賞：埼玉県内の小学校に在籍する児童で、公益財団法人日本スポーツ協会加盟の中央競技団体が主催する全国的競技大会に出場し優勝した者並びに、国際連盟が主催する国際大会で8位までに入賞した者。

感謝状：本会のスポーツ振興事業に顕著な支援及び協力をした個人または団体。

〔実施時期〕 令和4年3月13日(日)

〔実施会場〕 ラフレさいたま

※まん延防止等重点措置の期間のため功労賞受賞者の出席を制限。

〔受賞者〕

受賞者総数：団体 34団体(361名) 個人 262名 合計 623名

感謝状：12名 19団体

ア 功労者表彰

競技団体・学校体育団体等 31名

市町村体育・スポーツ協会 45名 功労賞総数 76名

イ 優秀選手賞

国際大会	優勝 個人	7名		
	準優勝 個人	2名		
	三位・入賞 個人	20名		
全国大会	優勝	17団体(153名)	個人	73名
	準優勝	9団体(103名)	個人	26名
	三位	8団体(105名)	個人	25名
	日本新記録	個人	4名	
	奨励賞	個人	10名	

ウ 栄光賞

栄光旗	Honda 陸上競技部
栄光楯	春日部共栄中学校水泳部男子
	埼玉栄高等学校男子ウエイトリフティング部
	東松山市立松山中学校女子ソフトテニス部
	タネル 舞璃乃 (埼玉栄高等学校：陸上)
	園田 陽大 (加須市立加須東中学校：水泳)
	山本 結月 (上尾市立大石中学校：水泳)
	五十嵐 文彌 (埼玉栄高等学校：レスリング)
	吉田 アラシ (花咲徳栄高等学校：レスリング)
	新添 左季 (自衛隊体育学校：柔道)
	森口 航士朗 (埼玉栄高等学校：バドミントン)

エ 会長特別賞

第32回オリンピック競技大会 (2020/東京)

我妻 悠香	ソフトボール (女子) 優勝
森 さやか	ソフトボール (女子) 優勝
新井 千鶴	柔道女子 70kg 級優勝・柔道混合団体 2位
濱田 尚里	柔道女子 70kg 級優勝・柔道混合団体 2位
山田 優	フェンシング男子エペ団体優勝
源田 壮亮	野球 (男子) 優勝
平良 海馬	野球 (男子) 優勝
乙黒 拓斗	レスリング男子フリースタイル 65kg 級優勝
梶原 悠未	自転車トラック女子オムニアム 2位
並木 月海	ボクシング女子フライ級 3位
丹羽 孝希	卓球男子団体 3位

東京2020パラリンピック競技大会

鈴木 亜弥子	バドミントンシングルス (上肢障害 SU5) 2位
	バドミントンダブルス (SL3-SU5) 3位
高橋 和樹	ボッチャ混合ペア (脳性麻痺・運動機能障害 BC3) 2位
菅野 浩二	車いすテニス ダブルス 3位
萩原 紀佳	ゴールボール 3位

若杉	遥	ゴールボール 3 位
赤石	竜我	車イス (いす) バスケットボール 2 位
藤澤	潔	車イス (いす) バスケットボール 2 位
倉橋	香衣	車いすラグビー 3 位
島川	慎一	車いすラグビー 3 位
中町	俊耶	車いすラグビー 3 位

アジアパシフィックアマチュアゴルフ選手権優勝

中島 啓太

オ 奨励賞

第 43 回全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会

小川 翔慎 100m バタフライ 11~12 歳 他 2 種目 優勝

第 44 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

塚田 亮真 男子 10 歳以下 4 × 50m メドレーリレー優勝

中川 豪 男子 10 歳以下 4 × 50m メドレーリレー優勝

峰岸 悠伍 男子 10 歳以下 4 × 50m メドレーリレー優勝

庭野 恭一 男子 10 歳以下 4 × 50m メドレーリレー優勝

全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦

紺野 優空 小学生男子 43 kg 級優勝

第 20 回日本バドミントンジュニアグランプリ 2021

萩原 駿希 男子団体優勝

坂脇 憲広 男子団体優勝

第 30 回全国小学生バドミントン選手権大会

内藤 遥希 4 年生以下男子ダブルス優勝

稲川 達士 4 年生以下男子ダブルス優勝

〔費用〕 賞状・額・栄光旗・栄光楯・会長特別賞トロフィー制作代等

(2) 体育優良児童・生徒表彰

〔事業内容〕 県内の小・中・高校の卒業又は修了予定の児童・生徒で、よく体育・スポーツを理解・愛好し、平素、熱心にこれらを実践している者のうち、特に健康状態・運動能力・スポーツマンシップに秀いで学業成績良好にして体育的見地より全校の模範となる者を表彰した。

〔実施会場〕 各学校の施設。

〔実施時期〕 表彰式は、原則、卒業式で行うこと。

〔被表彰者数〕

市町村・国・私・特別支援 小学校(級)

男子 656 名 女子 594 名 1,250 名 (655 校)

市町村・県・国・私・特別支援 中学校(級)

男子 413 名 女子 426 名 839 名 (434 校)

国・県・市・私立高校・特別支援学校

男子 210 名 女子 196 名 406 名 (219 校)

合計 男子 1,279 名 女子 1,216 名 2,495 名 (1,308 校)

〔経 費〕 賞状代

(3) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣)

※本会関係者及び団体

ア 生涯スポーツ功労者

関根 恒喜 氏 (公益財団法人熊谷市スポーツ協会)

牧野 保代 氏 (川越市スポーツ協会)

浅野 有三 氏 (埼玉県弓道連盟)

須田 邦明 氏 (一般社団法人埼玉県水泳連盟)

イ 生涯スポーツ優良団体

スポーツクラブ

リ・ボーンはすだ総合型地域スポーツクラブ (蓮田市)

一般社団法人ふじみ野ファイブルクラブ (ふじみ野市)

スポーツクラブ以外

該当無し

9 広報・普及活動事業

スポーツ活動の普及・振興のため作成した本会キャッチフレーズ「まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役」の活用や「スポーツ埼玉」の発刊、ホームページからの情報発信、懸垂幕の活用などを行った。

(1) 季刊誌「スポーツ埼玉」の発刊

〔事業概要〕本会広報誌「スポーツ埼玉」は、本県が取り組んでいるスポーツ施策や本会が行った講演やシンポジウムなどを掲載する他、国民体育大会埼玉県選手団の活躍(及び成績)、県内の指導者が進める本、本県の体育・スポーツの発展に人生を捧げた偉人などの紹介と多岐にわたるスポーツ情報の発信をしました。

〔発刊及び作成部数〕年4回(No.291・No.292・No.293・No.294)各11,000部

〔主な配布場所〕県歯科医師会会員(県内歯科医院)、県理容組合加盟店、県内ゴルフ練習場、県健康スポーツ医会会員、県内金融機関(埼玉りそな・武蔵野・さいしん・J Aバンク埼玉)県内各店舗、県内小中高校及び大学、県内公共スポーツ施設、本会にご支援頂いている企業、総合型地域スポーツクラブ、県内公共図書館、埼玉県人会会員(294号より)等

〔費用〕購入代金等：無料 印刷製本費、通信運搬費

(2) IT及びホームページの活用と充実

ホームページを活用し、ブログ式による各種情報の提供をはじめ、スポーツ大会やスポーツ活動を撮影した写真提供などの充実を図った。

〔費用〕サーバー管理料(及び一部更新料)

(3) キャッチフレーズの活用

ア 各種諸事業での横断幕の活用

- ・スポーツ総合センターロビーに掲示
- ・埼玉県駅伝競走大会(陸上競技場)に掲示

イ 封筒への刷り込み

ウ スポーツ少年団種目別大会等での明記(掲示)

・全ての実施要項等に明記

(4) 懸垂幕の活用

〔主な掲示物〕

・スポーツ総合センターの掲示

・キャッチフレーズ(まず参加たのしくスポーツみんなが主役)の掲示

・埼玉県スポーツ協会創立100年に関する掲示

〔費用〕懸垂幕作成代

10 埼玉県立武道館の指定管理

(1) 株式会社サイオーとの共同事業体により、県民サービスの向上と日本古来のスポーツである武道の普及・振興を図った。

(2) 県立武道館の主催事業について協力・支援を行なった。

〔事業内容〕利用率の向上と、スポーツへの親しみや地域との連携を醸成するため、自主事業の活動を支援した。

ア スポーツフェア 2021 ※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔実施時期〕令和3年5月9日(日)

〔実施会場〕埼玉県立武道館(全館)及びスポーツ総合センターアリーナ他

〔参加者〕一名(武道館教室生及び地域住民)

〔経費〕支援：設営等に要した費用の一部負担及び職員の派遣

イ 新春初稽古会

〔実施時期〕令和4年1月4日(火)

〔実施会場〕埼玉県立武道館(全館)

〔参加者〕3武道団体 421名(武道館教室生)

ウ 県立武道館「青少年なぎなた組手講習会」

〔実施期日〕令和3年10月24日(日)

〔実施会場〕埼玉県立武道館

〔参加者〕86名

11 スポーツ活動の安全管理

(1) 体育・スポーツ協会主催行事にかかる賠償責任保険制度の活用

〔事業概要〕年々、スポーツ傷害やスポーツ事故が増えている中、主催者に対する事故等への賠償責任を問われる判例がでてきており、そうした中、県民のスポーツ活動と市町村体育・スポーツ協会の運営をも安心して取り組める環境を整えるため、本会および本会加盟市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体に加入した。

なお、競技団体が主催する大会は、本会または市町村体育・スポーツ協会と共催することで対象となる。また、令和3年度は該当する事故はなか

った。

〔保険の概要〕

- ア 契約者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会
- イ 被保険者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会ならびに各郡市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体
- ウ 保険期間：一年間（令和3年4月1日午後4時～令和4年4月1日午後4時まで）
- エ 補償内容：対人対物共通てん補限度額：1事故5億円
免責金額：50万円
- オ 保険金支払の主な場合
 - ・落雷が予想される中、競技を継続したため、発生した落雷により参加者が死傷した。
 - ・イベントの観客を観客席に誘導するミスにより、観客が将棋倒しになり、観客にけが人が発生した。
 - ・イベント中に事故が発生したが、主催者側の過失によりイベントの中断・救助活動が遅れたため、参加者が死傷した。
 - ・大会会場の施設に明らかな破損が認められていたにも関わらず、イベントを強行実施したため参加者が死傷した。

(2) スポーツ傷害保険の活用

総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にスポーツ安全協会（傷害保険）の活用を呼びかけ、安心したスポーツ活動の推進を図った。

〔主な取組み〕総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に説明等を行ない、スポーツ少年団では、専門委員会での検討を重ね、指導者現地研修会や種目別代表者会議など指導者が多く集まる会議等でスポーツ傷害保険の活用を呼びかけた。

(3) リスクマネジメントに係る研修会の促進

総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にリスクマネジメントに係る研修会を行い、安心したスポーツ活動の推進を図った。

〔主な取組み〕総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に指導・助言を行ない、スポーツ少年団では、認定員養成講習会・認定員研修会等でのカリキュラムとして行ない、スポーツ活動に携わる関係者に対し、リスクマネジメントの大切さを呼びかけた。

12 指定寄付・賛助会員制度の推進

〔事業内容〕オリパラレガシーを継承し、県民誰もがスポーツを身近に楽しむことができる環境づくりを進めるため、各種の税制上の優遇措置を適正に活用し、寄付金控除型事業の拡充を図るため「Sports Saitama Future Fund（スポーツ埼玉みらい資金）」を創設した。

(1) 一般寄付

〔事業内容〕 本会の運営並びに大会開催の充実が図れた。

・法人 2団体

株式会社サイニチホールディングス・埼玉県信用金庫協会

(2) 賛助会制度の充実

〔事業内容〕 次代を担うジュニア・ユース年代のスポーツ活動の充実は、活力溢れる郷土埼玉や「スポーツ王国埼玉」づくりに最も重要かつ不可欠と確信し、より充実した事業の展開を図るため、本趣旨にご賛同くださる方々を募った。

・法人 47団体

※団体名は令和4年3月31日現在

埼玉縣信用金庫・埼玉県柔道連盟・株式会社丸幸・株式会社サイオー・埼玉県ソフトテニス連盟・吉見町スポーツ協会・学校法人後藤学園武蔵丘短期大学・滑川町スポーツ協会・一般財団法人埼玉陸上競技協会・深谷市体育協会・株式会社埼玉新聞社・三郷市スポーツ協会・嵐山町スポーツ協会・株式会社アールはっとりはりきゅう接骨院・公益財団法人草加市スポーツ協会・埼玉県近代五種バイアスロン連合・公益財団法人さいたま市スポーツ協会・埼玉県空手道連盟・埼玉県なぎなた連盟・特定非営利活動法人 YTK Sports・小川町スポーツ協会・公益財団法人埼玉県剣道連盟・公益財団法人熊谷市スポーツ協会・学校法人稲穂学園いなほ幼稚園・東松山市スポーツ協会・埼玉県弓道連盟・一般社団法人埼玉県バスケットボール協会・株式会社高脇基礎工事・公益財団法人川口市スポーツ協会・戸田市体育協会・埼玉県グラウンド・ゴルフ協会・ゆりのき鍼灸整骨院・北本市スポーツ協会・大蔵屋商事株式会社・埼玉県スケート連盟・川島町スポーツ協会・株式会社埼玉スポーツ・公益財団法人新座市スポーツ協会・白岡市体育協会・埼玉県野球連盟・埼玉県テニス協会・株式会社サイニチホールディングス・匿名希望法人5団体

・個人 70名

山下誠二・浅見茂・油井正幸・並木克広・山下晴海・藤本泰宏・山下征・野中常七郎・野澤誠一・保科征男・大保木輝雄・小原敏彦・永井一博・野口英夫・中田次夫・内田秀男・今中隆雄・田中稔・和泉洋・藤沼貞夫・岩崎文雄・棚沢絹江・青葉元由紀・中田善雄・村山和弘・中山和義・田村和夫・上羅廣・森田進一・小山吉男・永島龍次・河本弘・増田優・前之園晴廣・小林伸子・帆足光代・尾崎豊・田中靖男・新井彰・本橋民夫・高橋順一・柿原順子・山下實・宮内孝知・松原誠・石倉昭一・石田明男・北清治・谷古宇勘司・三戸一嘉・岡田謙司・堀部武男・数野裕之・青葉昌幸・福田和仁・林一夫・宮下達也・牛山廣司・遠井学・小川貴・久保正美・小畔東・山口正貴・川田一成・匿名希望者6名

(3) クラウドファンディング「みんなでプラチナ体験 大・作・戦」の実施

〔事業内容〕 年々厳しさを増す財政事情を踏まえ、民による公益増進を図るため、ファンドレーザーの徳永洋子氏(ファンドレイジング・ラボ代表)に

協力を仰ぎ、県スポーツ振興課と協働でファンドレイジングに挑戦した。

・法人寄付Aコース

株式会社サイオー・パナソニック株式会社エレクトリックワークス社

・法人寄付Cコース

有限会社内田造園土木・株式会社カリテス・埼玉県トライアスロン連
合・長谷川体育施設株式会社埼玉営業所 他個人延べ104名

13 スポーツ教室の開催

〔事業内容〕 埼玉アイスアリーナを活用し、氷上スポーツの普及と強化を図る。

(1) アイスホッケー体験教室

〔実施期日〕 令和3年4月23日(土)から12月25日(日) 計8回

〔参加者数〕 延べ64名

〔受取参加料〕 無料

(2) 団体利用者スケート教室

〔実施期日〕

(3) 体験教室(校外教室)

〔実施期日〕 令和3年6月～令和4年3月

〔参加者数〕 6校16教室延べ2,242名

〔受取参加料〕 無料 ※滑走料は受益者負担

公 2 競技力向上事業

1 国民体育大会

(1) 埼玉県予選会の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・規模縮小

〔事業内容〕国民体育大会に参加する競技団体に対して公正で公開された選考会の運営を指導・監督した。

(2) 関東ブロック大会選手団の編成及び派遣

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、アイスホッケー競技のみ派遣

〔事業内容〕各競技の予選会を経て選ばれた選手で選手団を編成し、第76回国民体育大会・第77回国民体育大会冬季大会関東ブロック大会に派遣をした。

〔実施期日〕令和3年5月～12月(各競技により日程が異なる)

〔派遣人数〕25競技 監督・選手577名

(3) 第76回国民体育大会<陸上競技含む37競技>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

〔競技会場〕三重県三重市他

〔実施期日〕中止

〔参加人数〕編成前に中止

〔成績〕天皇杯 なし
皇后杯 なし

(4) 第77回国民体育大会

ア スケート・アイスホッケー競技会

〔競技会場〕栃木県

〔実施期日〕令和4年1月24日(月)～1月30日(日)

〔参加人数〕役員・監督・選手83名

イ スキー競技会 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

〔競技会場〕秋田県

〔実施期日〕令和4年2月17日(木)～20日(日)

〔参加人数〕役員・監督・選手42名(委嘱済みの者)

(5) 第76回国民体育大会表彰式(冬季競技のみで実施)

〔実施期日〕令和3年12月23日(木)

〔実施会場〕埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕第76回国民体育大会入賞者及びその関係者約30名

〔成績〕競技別天皇杯獲得団体(なし)

入賞者数：団体 2団体 個人 9名

団体	第1位	0団体	第2位	1団体	第3位	0団体
	第4位	1団体	第5位	0団体	第6位	0団体
	第7位	0団体	第8位	0団体		

個人	第1位	3名	第2位	0名	第3位	0名
	第4位	0名	第5位	0名	第6位	4名
	第7位	1名	第8位	1名		

(6) 国民体育大会功労者特別表彰(公益財団法人日本スポーツ協会)

令和3年度 本県該当者無

2 第1期強化訓練事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕国民体育大会での活躍を期するため、次の強化事業について助成(補助)した。

(1) 本大会強化訓練事業

競技力の向上とスポーツマンシップの下に、フェアプレイ精神の高揚を図り埼玉県を代表するに相応しい選手の育成・強化を図った。

〔助成団体〕35競技(陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ボート・ボクシング・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・セーリング・ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車・ソフトテニス・卓球・野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道・ソフトボール・バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・山岳・カヌー・アーチェリー・空手道・クレー射撃・なぎなた・ゴルフ・トライアスロン) 約1,700名

〔助成対象経費〕

合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

(2) 直前強化訓練事業

国民体育大会をはじめ国内外の競技大会で活躍できる選手を対象に、より厳しい環境の中で実践的な強化訓練をし、世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成した。

〔助成対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品費・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

〔助成団体〕6競技(水泳・テニス・弓道・剣道・クレー射撃・なぎなた) 151名

〔助成事業の対象期間〕競技団体毎に本大会出場が決定した翌日から本大会中止決定の日まで

〔助成事業の開催場所〕当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

3 第2期強化訓練事業

〔助成(補助)事業〕 ※本大会中止に伴い事業変更

〔助成内容〕次回の国民体育大会における本県を代表するに相応しい選手を育成発掘し、手作り選手による本県選手の編成を目指すとともに、次代を担う選手を育てる。

〔助成対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

〔助成団体〕25 団体

〔助成事業の対象期間等〕本大会中止決定の日の翌日から翌年の3月31日まで。

〔助成事業の開催場所〕当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

4 スポーツ環境整備事業

(1) 冬季競技重点施策〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕強化訓練会場(施設)の無い冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活動の会場を確保し強化を図った。

〔助成対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品費・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲で補助。

〔助成金額〕補助金の算出は、エントリー数と実績や活躍度を数値化し、予算の範囲内で配分しています。

〔助成団体〕冬季3競技(スケート・アイスホッケー・スキー)約120名

〔助成事業の対象期間〕競技団体毎に4月から翌年3月の祝祭日を中心に実施。

〔助成事業の開催場所〕

スケート：埼玉アイスアリーナ、軽井沢スケートリンク、Mウエーブ他

アイスホッケー：埼玉アイスアリーナ

スキー：菅平高原スキー場、八幡平スキー場 他

(2) 競技用器具機材等の整備

競技力向上事業のDXを図るための機材の調達、システムの改修。

5 支援スタッフサポート事業 ※ 本大会中止のため冬季大会のみ派遣

(1) 医学サポートスタッフ派遣事業〔助成(補助)事業〕

〔助成対象者〕派遣対象候補者で、競技団体から申告のあった者の中から本会会長が認めた者

競技名：アイスホッケー1名

(2) 競技別支援スタッフの派遣

〔助成内容〕国民体育大会において本県選手団が安心して競技会に臨める環境を整えるため、競技団体から推薦されたコーチやアタッシュなどを、埼玉県選手団の支援スタッフに委嘱し、派遣にかかる費用を助成(補助)した。

〔助成対象経費〕派遣にかかる旅費交通費の一部を補助。

〔助成対象者〕国民体育大会(冬季・本大会)に出場する競技団体から推薦のあった者。各団体1名(但し、活躍が見込める団体は2名まで認める)

ア 会長指名派遣：0競技0名(本大会0名・冬季大会0名)

- イ 支援スタッフ派遣者：2競技3名(本大会0名・冬季大会3名)
- ウ 競技団体負担派遣者：0競技0名(派遣にかかる費用は競技団体負担)

6 競技団体指定クラブ強化事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕国民体育大会をはじめ、全国規模の大会や選手権大会などで優秀な成績を収めた選手を輩出しているクラブまたは今後期待されるクラブの選手強化事業に対して助成(補助)した。

〔助成対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品費・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助した。

〔助成事業の開催期日〕通年

〔助成事業の開催場所〕各クラブが利用している施設。

〔助成団体〕22競技(ソフトボール・バレーボール・ボート・テニス・トリアスロンソフトテニス・野球・バスケットボール・柔道・スケート・レスリング・体操・水泳・バドミントン・アイスホッケー・ホッケー・なぎなた・馬術・卓球・アーチェリー・陸上競技・スキー) 約650名

7 ジュニア育成補助事業

(1) 彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕

〔内容〕県内の将来性の豊かなジュニアアスリートを見いだし、その対象の特性や発達段階に応じた定期的・継続的なトレーニング等を実施できる体制を構築することにより、長期的な視点で世界に羽ばたくアスリートの育成拠点の整備を支援した。

〔開催期日〕概ね月一回で年10回以上。トレーニングは一回あたり2時間を上限とし、一日あたり5時間を超えないものとした。

(2) 彩の国アスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕

〔内容〕世界に羽ばたくトップアスリートを輩出することを目指し、各競技団体と連携して県内の高い競技水準を有する者に対して、より高水準のトレーニング環境における定期的・継続的なトレーニング等を実施できる体制を構築し、本県アスリートの育成拠点の整備を支援するため彩の国アスリートアカデミーを開催した。

〔対象団体〕国民体育大会実施競技およびオリンピック大会実施競技のうち本会に加盟する競技団体の中から以下の競技3団体を選定

トリアスロン、ボウリング、ライフル射撃

〔実施時期〕概ね月1回で年10回以上。

(3) 次世代アスリートの発掘・育成事業

ア 彩の国Platinumkids 発掘・育成事業

〔内容〕高い身体能力を有する小学生年代のアスリート候補を発掘・認定し、県競技団体と共にそれらのアスリートが自己の可能性を最大限に伸ばられる環境を整えつつ、競技団体が優れた資質を有する人材の

獲得に資する支援を企図した。

(ア) 発掘プログラム

〔募集対象〕 県内小学校4年生ならびに過年度最終選考会に参加した者のうち、本会が参加を認める者

〔募集期間〕 令和3年6月4日から令和3年9月30日

〔選考方法〕 第1ステージ 新体力テスト結果による書類選考
第2ステージ 発掘測定会の実技結果による選考

〔発掘測定会〕 令和3年11月7日(日) 埼玉県立武道館

(イ) 対象者への研修の実施(育成プログラム)

〔実施期間〕 4月から3月

〔主なプログラム〕 アスリート教育プログラム、運動能力開発プログラム、体力測定等 全6回開催(オンライン開催含む)

(ウ) パスウェイプログラム

〔実施期間〕 4月から3月のうち競技団体が定める日時・会場

〔主なプログラム〕 キッズスポーツチャレンジ25回 延べ324名
練習会 4競技 延べ31名

イ 彩の国 Platinum junior 発掘・育成事業

〔内容〕 特定の競技に関わる非凡な能力を有する県内中学生年代のアスリートを新たに発掘・認定し、本県のスポーツ資源を活かしたサポートを通じて、それらのアスリートが自己の可能性に挑戦できる環境を整え、世界を目指して活躍するアスリートの輩出を企図した。

(ア) 発掘プログラム

〔募集対象〕 県内小学校6年生、中学1年生、中学2年生

〔募集期間〕 令和3年6月4日から11月11日

〔選考方法〕 第1ステージ 新体力テスト結果による書類選考
第2ステージ 競技団体トライアウトによる選考

〔トライアウト〕 競技毎に実施

(イ) 育成プログラムの実施

〔実施日〕 令和3年9月18日(日)のほか全3回

〔主なプログラム〕 障害予防プログラム、スポーツ科学教育プログラム、メディカルチェック等

(ウ) 競技専門トレーニングプログラム

〔実施日〕 令和3年4月～令和4年3月

〔対象〕 彩の国プラチナジュニア認定者

〔主なプログラム〕 競技専門トレーニング

ウ 彩の国 Platinum athlete 強化支援事業

〔内容〕 本県の次世代を担うトップアスリート候補者が国内主要大会や国際大会等に万全な状態で挑戦できるよう、スポーツ医・科学サポート等を効果的に活用できる体制を整備し、本県からより多くのトップアスリートが持続的に輩出されることを目的に実施した。

(ア)発掘プログラム

〔趣旨〕 将来、国際大会や国民体育大会で活躍できるトップアスリート
を本県から輩出するため、令和4年度対象者の選考に関わる情報を収集し、埼玉県へ提供した。

(イ)競技力向上サポート

〔内容〕

a 彩の国アスリートサポートパートナーシップ制度の構築

各専門家が自身の得意分野を活かしたアスリート支援活動ができる制度を整え、本県スポーツ人材の育成と人材確保を促すパートナーシップを構築し、本県アスリートが競技力向上に打ち込める環境を整えた。

登録者 全22名

b パートナーによる彩の国アスリート等への専門的サポートの提供
パートナーとの連携を図り、該当選手のニーズに基づいたトレーニングプランの作成、メニュー作成支援・提供、研修機会の提供等を実施し、継続的に当該選手の育成・強化活動をサポートした。

c その他のサポート

競技力向上に有益なサポート手法を開発・検討を行った。

d 活動経費の助成

当該アスリートの育成・強化活動に関わる経費の一部を助成した。

〔専門家によるサポートの例〕

フィジカルトレーニング指導、けが予防指導、栄養指導、メンタル指導、スポーツ科学支援、アスリートライフスタイル支援、その他

〔実施期間〕 令和3年4月～令和4年3月

8 中・高体連育成強化事業の実施〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 中・高校の連携により有望選手の早期発掘と県内定着を図り、世界に羽ばたく彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会をとおして世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成した。

〔助成対象経費〕 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助した。

〔助成事業の開催期日〕 7月から3月の祝祭日を中心に実施した。

〔助成事業の開催場所〕 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

〔助成対象団体〕 埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟

〔助成金額〕 8,150,000円

〔成績〕

・令和3年度全国高等学校総合体育大会成績(冬季含む) ※冬季大会のみ
◎団体 優勝 準優勝 3・4位 ベスト8 合計

男子	2 団体	2 団体	3 団体	6 団体	12 団体
女子	0 団体	2 団体	1 団体	4 団体	7 団体
◎個人	優 勝	準優勝	3・4 位	ベスト8	合 計
男子	12 名	10 名	15 名	24 名	61 名
女子	8 名	4 名	10 名	22 名	22 名
・ 令和3年度全国中学校体育大会成績（冬季含む）					
◎団体	優 勝	準優勝	3・4 位	ベスト8	合 計
男子	3 団体	0 団体	2 団体	5 団体	10 団体
女子	1 団体	0 団体	2 団体	5 団体	8 団体
◎個人	優 勝	準優勝	3・4 位	ベスト8	合 計
男子	8 名	6 名	4 名	12 名	30 名
女子	3 名	6 名	10 名	11 名	29 名

9 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱

〔事業内容〕埼玉県と連携・協力し、当該年度の国体候補選手、監督、指導者の所属する高等学校長及び中学校体育連盟会長を強化特別委員として委嘱し、選手の練習環境を整え、より一層の競技力向上を図った。

10 埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議の開催

(1) 埼玉県強化コーチ研修会

〔事業内容〕各競技団体における競技力向上に関する担当指導者及び国民体育大会監督候補者を対象に、トレーニングや技術指導等に関する諸問題について研修を行うとともに、第76回国民体育大会本大会『三重とこわか国体』での必勝体制の確立を図った。

〔実施時期〕令和3年7月7日（水）

〔実施会場〕スポーツ総合センター

〔参加人数〕国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者62名

〔講演内容〕アンチ・ドーピング研修会

〔経 費〕受取参加料：無料 講師謝金

(2) 国民体育大会必勝対策会議

〔事業内容〕第76回国民体育大会関東ブロック大会突破の見通しと本大会での入賞予想及び各競技団体の戦力状況と強化策について確認、分析した。

- 分科会：
- ・本大会及び関東ブロック大会に向けた各競技の戦力予想。
 - ・ライバル県の戦力分析と各競技団体における強化策及び情報交換。
 - ・本大会申し込み
 - ・アンチ・ドーピング対策
 - ・監督資格について

〔実施時期〕埼玉県強化コーチ研修会と同時開催

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加人数〕 国民体育大会実施 41 競技団体選手強化関係者 82 名

※埼玉県強化コーチ研修会と同時開催

11 埼玉スポーツの未来を考えるシンポジウム

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

12 埼玉県スポーツ指導者研修会

(1) 第 1 回埼玉県スポーツ指導者研修会

〔事業内容〕 長年培った選手育成のノウハウとスポーツ科学に基づく競技力向上を図るための研修会を実施する。

〔実施時期〕 令和 3 年 12 月 4 日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター 講堂

〔参加者〕 本会加盟団体関係者・本会スポーツ科学委員会関係者・埼玉県スポーツ指導者協議会理事・各市町村スポーツ少年団関係者 124 名

〔講義内容〕 講義Ⅰ『スプリント能力養成のためのコーチング』

講師：佐藤真太郎 氏(大東文化大学スポーツ科学科准教授)

講義Ⅱ『メンタルヘルスを尊重したスポーツ活動』

講師：山本宏明 氏(北里メディカルセンター精神科副部長)

(2) 第 2 回埼玉県スポーツ指導者研修会

〔事業内容〕 公認スポーツ指導者及び競技団体強化担当指導者の資質の向上と活動の促進を図る研修会を実施する。(公認スポーツ指導者制度に基づいた義務研修)

〔実施時期〕 令和 4 年 3 月 5 日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター 講堂

〔参加者〕 本会加盟団体関係者・本会スポーツ科学委員会関係者・埼玉県スポーツ指導者協議会理事・各市町村スポーツ少年団関係者 26 名

〔研修内容〕 テーマ：「長期的視点で考えるアスリート育成」

第 1 部：①日本版 FTEM について

講師：衣笠 泰介 氏(独立行政法人日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンススポーツセンター)

②プラチナキッズについて

講師：久保潤二郎 氏(平成国際大学)

③公益財団法人日本陸上競技連盟の取り組みについて

講師：森丘 保典 氏(日本大学)

第 2 部：④プラチナキッズにおける育成

講師：畑中 翔 (公益財団法人埼玉県スポーツ協会)

⑤ジュニア～ユース年代の育成

講師：大橋 祐二 氏(日本女子体育大学)

第 3 部：パネルディスカッション (第 1 部・第 2 部の講師による)

13 競技別義務研修〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 埼玉県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者で組織する、埼玉県スポーツ指導者と連携し、協議会登録指導者を対象に、競技特性に応じた日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の義務研修を開催するための費用を助成(補助)しました。

〔助成対象経費〕 研修会にかかる講師謝金・会場借上げ料・通信運搬費

〔助成金額〕 定額 50,000 円

〔助成団体〕 埼玉県スポーツ指導者協議会の指導者協議会 3 団体 3 コース

〔参加者総数〕 144 名

14 国際競技派遣事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 本県競技団体所属の選手が、日本を代表して国際大会に出場する際の経費について、定額補助を行った。

〔助成金額〕 一人 10,000 円(オリンピック競技会出場者は 20,000 円)

〔助成対象〕 延べ 30 名

15 埼玉県選手強化対策委員会要覧及びコーチのしおりの作成

〔事業内容〕 国民体育大会本大会の強化事業に係わる、埼玉県選手強化基本方針や第 76 回国民体育大会強化基本計画等を取り纏めた。また、国民体育大会本大会終了後には、今後の強化事業に役立てるため、大会の成果(成績)や結果を分析したデータを取り纏めた。

(1) 選手強化対策委員会要覧

〔発刊時期〕 発刊なし

(2) スポーツ科学普及促進情報誌

〔発刊時期〕 令和 4 年 3 月

〔配布先〕 本会ホームページ

〔費用〕 印刷製本費

(3) コーチのしおり 国体中止のため発行を見送り

16 スポーツ科学研究事業

〔内容〕 スポーツを医学的・科学的・コーチング・アンチ・ドーピングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進と生涯スポーツの振興を図った。

(1) アンチ・ドーピング教育啓発事業

〔事業内容〕 高等学校総合体育大会及び国民体育大会結団式並びに国民体育大会選手選考会議・各種研修等(彩の国ジュニアアスリートアカデミーとタレント発掘事業)においてアンチ・ドーピング教育・啓発研修を実施した。JSP0 からの委託を受け、アンチ・ドーピング啓発ガイドブックを作成した。

〔実施時期〕 国民体育大会必勝対策会議：令和3年7月7日
高校総体結団式：新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔参加者〕

コーチ研修会：国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者82名

国民体育大会選考会議：新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

国民体育大会結団式・壮行会：新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

アンチ・ドーピングホットライン：通年

〔実施会場〕 国民体育大会必勝対策会議：スポーツ総合センター

高校総体結団式：中止

国民体育大会選考会議：中止

国民体育大会結団式：中止

アンチ・ドーピングホットライン：通年

高校総体結団式：インターハイ出場選手・関係者 中止

国民体育大会選考会議：競技団体役員・監督約 中止

国民体育大会結団式：本大会出場選手・監督約 中止

(2) スポーツ医・科学相談事業

〔実施内容〕 Platinumkids(修了生含む)に対して、相談事業を実施した

〔実施時期〕 令和4年2月20日

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者〕 4名

(3) 国体選手(彩の国アスリート)の健康管理事業

〔実施時期〕 配布：令和3年12月

回収：令和4年1月(候補選手確定まで)

〔実施会場〕 国民体育大会埼玉県選手候補の問診票：本会で回収、ドクター及び薬剤師が所見

〔参加者〕 国民体育大会埼玉県選手候補(冬季競技のみ)

(4) 国民体育大会帯同ドクター派遣

〔事業内容〕 ドーピングコントロールとスポーツ障害の防止を図るため、スポーツドクターを本部役員として選手団に帯同させ、ドーピングの防止に努めた。また、選手・監督の要請を受け、スポーツ傷害の防止並びにメンタル的サポートを行なった。※帯同ドクターは、日本スポーツ協会が定めた選手団編成基準の役員に位置付けられる。

〔実施時期〕 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止(会期前：水泳競技他) 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止(本大会：陸上競技他)

令和4年1月24日(月)～30日(日)(スケート・アイスホッケー競技)

令和4年2月17日(水)～20日(日)(スキー競技)

〔実施会場〕 第77回国民体育大会：冬季大会 栃木県・秋田県

〔参加者〕 第77回国民体育大会：冬季大会 3名

(5) 研修会・講習会の開催

ア トレーナー研修会の開催

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

イ コーチングセミナー

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

公3 スポーツ少年団事業

1 令和3年度埼玉県スポーツ少年団登録状況

団数	更新	1,477 団	新規	13 団	合計	1,490 団
指導者	更新	10,618 名	新規	365 名	合計	10,983 名
役員スタッフ	更新	2,888 名	新規	1,344 名	合計	4,232 名
団員	男子	30,146 名	女子	10,364 名	合計	40,510 名

2 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

(1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催

〔事業内容〕日々のスポーツ活動で学んだルールや技術、それらを習得する過程で得られるマナーやモラルを実践する場を作るとともに、合せて子ども達の指導にあたる者たちの資質の向上を図った。

ア 軟式野球

第40回夏季小学生軟式野球交流大会

〔実施時期〕令和3年5月30日(日)

・6月6日(日)・13日(日)・20日(日)

〔実施会場〕ケイアイスタジアム 他

〔参加団数〕332 団

第46回小学生軟式野球交流大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第23回中学生軟式野球交流大会

〔実施時期〕令和3年7月22日(木)・24日(土)・25日(日)

〔実施会場〕北部ブロック(秩父市・皆野町等)

〔参加団数〕16 団

第17回女子団員交流大会

〔実施時期〕令和3年11月13日(土)・23日(火)

〔実施会場〕加須市

〔参加団数〕12 団

イ サッカー

第50回埼玉県サッカー少年団大会

〔実施時期〕令和4年1月16日(日)・23日(日)・2月6日(日)

〔実施会場〕埼玉スタジアム2002(第3グラウンド)他

〔参加団数〕339 団

第7回埼玉県スポーツ少年団U-10サッカー大会

〔実施時期〕令和3年12月5日(日)・19日(日)

〔実施会場〕新座市総合運動公園陸上競技場 他

〔参加団数〕399 団

ウ バスケットボール

第40回小学生バスケットボール交流大会

〔実施時期〕令和3年7月10日(土)・11日(日)

〔実施会場〕 深谷ビックタートル

〔参加団数〕 278 団

第 22 回ジュニアリーダーバスケットボール交流大会

〔実施時期〕 令和 3 年 8 月 15 日(日)

〔実施会場〕 深谷ビックタートル

〔参加団数〕 278 団

エ バレーボール

第 40 回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第 16 回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第 18 回埼玉県スポーツ少年団中学生交流大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第 45 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会埼玉県決勝大会

〔実施期日〕 令和 3 年 12 月 11 日(日)・19(土)

〔実施会場〕 北本市体育センター他

〔参加団数〕 127 団

第 9 回埼玉県スポーツ少年団混合大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

オ 剣 道

第 4 5 回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会

〔実施時期〕 令和 3 年 10 月 16 日(土)

〔実施会場〕 熊谷市立大里体育館

〔参加団数〕 49 団

第 44 回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会

〔実施時期〕 令和 3 年 12 月 12 日(土)

〔実施会場〕 戸田市スポーツセンター

〔参加団数〕 49 団

カ ソフトボール

第 44 回ソフトボール中央大会

〔実施期日〕 男子：令和 3 年 7 月 31 日(土)・8 月 1 日(日)

女子：令和 3 年 10 月 2 日(土)・3 日(日)

〔実施会場〕 男子：さいたま市 荒川総合運動公園グラウンド

女子：北本市総合公園多目的広場 他

〔参加団数〕 32 団

キ 空手道

第 37 回埼玉県スポーツ少年団空手道交流大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

ク 柔 道

第 43 回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

ケ バドミントン

第 39 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)

〔実施期日〕 令和 3 年 12 月 4 日(土)

〔実施会場〕 毎日興行アリーナ久喜

〔参加団数〕 15 団

第 28 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(個人戦)

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

コ ソフトテニス

第 42 回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会(小学生の部)

〔実施期日〕 令和 3 年 8 月 8 日(日)

〔実施会場〕 くまがやドーム多目的運動場

〔参加団数〕 32 団

第 42 回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会(中学生の部)

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

第 7 回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会(団体戦)

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

サ 複 合

第 41 回複合種目大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

シ 駅 伝

第 39 回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

ス 体 操

第 11 回埼玉県スポーツ少年団体操競技交流大会

〔実施期日〕 令和 3 年 12 月 26 日(日)

〔実施会場〕 川越総合運動公園体育館

〔参加団数〕 10 団

(2) 東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

3 第 48 回日独スポーツ少年団同時交流事業

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団とドイツスポーツユース間の、「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づき、両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与するための事業。

(1) 派遣事業

〔実施時期〕 令和 3 年 7 月 25 日(日)～8 月 1 日(日)

〔実施会場〕 オンライン開催

〔派遣人数〕 団員 2 名

〔費用〕なし

(2) 受入事業

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(3) 日独コースキャンプ

〔実施時期〕令和3年8月2日(月)～8月5日(木)

〔実施会場〕オンライン開催

〔派遣人数〕団員2名、指導者1名

〔費用〕1人15,000円

4 指導者養成・研修事業

(1) スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

(県本部開催：1コース 市町村開催16コース)

〔事業内容〕日本スポーツ協会指導者制度に基づき、単位団活動で指導にあたる指導者の養成。(検定合格者は所定の手続きを行う事により、公益財団法人日本スポーツ協会公認スタートコーチ(スポーツ少年団)が付与される。)

ア 県本部直接開催

〔実施期日〕令和3年11月14日(日)

〔実施会場〕スポーツ総合センター

〔参加人数〕42名

〔受取参加料〕1人4,400円

イ 市町村開催コース

〔実施時期〕令和3年4月1日～令和4年3月31日

〔実施会場〕14市町16コース

〔参加対象〕延べ722名

〔受取参加料〕2,000円～4,500円(各会場ごと)

(2) スタートコーチインストラクター移行研修会

ア 日本スポーツ少年団開催への派遣

〔事業内容〕2020年4月に日本スポーツ少年団指導者制度が廃止され、日本スポーツ協会指導者制度に移行される事に伴い、2020年度から新たに養成される「スタートコーチ(スポーツ少年団)」養成講習会で講師となる現認定育成員等に参加を促し、講習会を開催する体制の充実を図る事業。

〔実施期日〕研修会：令和3年12月19日(日)・23日(木)、
令和4年1月22日(土)・23日(日)

講習会：令和4年1月23日(日)

〔実施会場〕研修会：オンライン開催

講習会：オンライン開催

〔参加者〕研修会：12名

講習会：1名

〔支払参加料〕研修会：一人 2,200 円(×参加者実数)

講習会：一人 4,400 円(×参加者実数)

イ 埼玉県スポーツ少年団開催事業

〔事業内容〕令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、スタートコーチ(スポーツ少年団)の養成講習会が中止となり、「スポーツ少年団の理念や組織について」を学ぶ場の確保が難しくなった。そこで、令和3年度埼玉県スポーツ少年団に登録した者を対象とし、スポーツ少年団での指導や団運営に携わる上で必要なことを学ぶ機会を確保することを目的として実施した。

〔実施期日〕令和4年1月9日(日)

〔実施会場〕スポーツ総合センター

〔参加者数〕23名

(3) 登録指導者研修会〔助成(補助)事業〕

〔事業目的〕日頃のスポーツ少年団活動において、子ども達の育成・指導にあたる登録指導者の資質の向上を図るとともに、情報交換を目的とする研修会の開催を助成(補助)しました。

〔実施期日〕令和3年4月1日～令和4年3月31日

〔実施会場〕2市町2コース

〔参加者数〕延べ23名

〔受取参加料〕原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

〔支払補助金〕1コース30,000円

(事業規模40,000円以上・市町村負担10,000円以上)

(4) 母集団研修会〔助成(補助)事業〕

〔事業内容〕埼玉県スポーツ少年団では、スポーツ少年団活動を支援・協力するため、1少年団に1育成母集団の結成を目指し、母集団(員)の中核的推進者を集めて育成研修事業の実施を助成(補助)した。

〔実施時期〕令和3年4月1日～令和4年3月31日

〔実施会場〕7市町7コース

〔参加対象者〕延べ251名

〔受取参加料〕原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

〔支払補助金〕1コース30,000円

(事業規模40,000円以上・市町村負担10,000円以上)

(5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会

〔事業内容〕県内の市町村スポーツ少年団種目別指導者の代表者が一堂に会し、今日的テーマの研修を行うとともに、種目別大会の運営方法について協議、情報交換をしてスポーツ少年団の健全な育成を図りました。

〔実施時期〕令和4年1月30日(日)

〔実施会場〕オンラインで実施

〔参加者〕44名

〔受取参加料〕無料

(6) 研究大会等派遣

ア ジュニアスポーツフォーラム派遣

〔事業内容〕 今後のジュニアスポーツおよび生涯スポーツの振興、ジュニア期のスポーツとその指導のあり方等についての研究を通して指導者個々の質的向上を図るとともに、ジュニアスポーツに対する望ましい指導体制を確立するために、現在ジュニアスポーツの指導に直接従事している登録指導者を対象に開催される研究大会に指導者を派遣しました。

〔実施時期〕 令和3年6月13日(日)

〔実施会場〕 オンライン開催

〔参加者〕 7名

〔支払参加料〕 1,100円(参加者自己負担)

イ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会派遣

〔事業内容〕 関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法等について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するために開催される研究協議会に関係者を派遣し、今後の少年団活動に役立てることが出来た。

〔実施時期〕 令和3年11月6日(土)

〔実施会場〕 オンライン開催(主管:東京都)

〔参加者〕 3名

※関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会は関東各都県輪番制(8年毎に開催)

5 リーダー養成・研修事業

(1) シニア・リーダースクール派遣

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(2) ジュニアリーダースクールの開講

ア ジュニアリーダースクール(県本部開催)

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、中学生を対象に単位団において模範となって活動する団員を育てるとともに、資質の向上と団活動の活性化を図りました。

〔実施時期〕 令和4年1月8日(土)・9日(日)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者〕 40名

イ ジュニア・リーダースクール補助事業(助成(補助)事業)

〔事業内容〕 日頃のスポーツ少年団活動をしている小学生を対象に、将来ジュニア・リーダーを目指す団員を養成する。

〔実施会場〕 4市町4コース

〔参加人数〕 延べ50名

〔受取参加料〕原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

〔支払補助金〕20,000円

(事業規模30,000円以上・市町村負担10,000円以上)

(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣

〔事業内容〕全国都道府県スポーツ少年団リーダーの相互研修及び情報交換を通じ、各都道府県リーダー会の充実・強化、さらには全国的ネットワークの構築を目指し、各都道府県スポーツ少年団リーダー代表による全国会議に関係者を派遣し、今後のスポーツ少年団活動に役立てることが出来た。

〔実施時期〕令和3年6月12日(土)・13日(日)

〔実施会場〕オンライン開催

〔参加者〕2名(リーダー1名、指導者1名)

(4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会開催

〔事業内容〕関東ブロック内スポーツ少年団リーダーの相互研修を通じ、各都県及び市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進するため、各都県スポーツ少年団リーダー代表によるブロック内の研究大会に派遣しました。

〔実施期日〕令和3年10月16日(日)

〔実施会場〕オンライン開催(主管：群馬県)

〔参加者〕本県からの参加者は無し

(5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成(運営費補助)

〔事業内容〕埼玉県スポーツ少年団リーダー会は、各市町村で活動しているリーダーが持つ共通の課題などの情報交換や、よりよいリーダーになれるよう普段の活動をふりかえり、今後の活動に活かす勉強会や、リーダー相互の親睦を深める交流交歓活動などを支援するため補助を行ないました。また、埼玉県スポーツ少年団大会やジュニアリーダースクールなど、各種事業への協力も行なっています。

〔支払補助金〕200,000円

6 地域交流補助事業

〔事業内容〕日頃、生活圏で行われているスポーツ少年団活動に、子ども達の成長とともに広がる地理的視野の拡大に合せ、他団体や他地域と交流活動をすることで、スポーツ少年団活動の活発化と地域交流の促進を図りました。

〔実施数〕14市町15事業

〔参加者数〕5,984名

〔支払補助金〕50,000円

(事業規模100,000円程度・市町村負担50,000円以上)

7 国内交流大会派遣事業

(1) 全国スポーツ少年団大会

〔事業内容〕各都道府県代表の団員及び指導者の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動・文化活動・野外活動・交歓交流活動等を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図るため、本県少年団代表者を派遣しました。

〔実施期日〕令和3年9月19日(日)・20日(月)

〔実施会場〕オンライン開催(主管：東京都)

〔参加者〕本県からの参加者は無し

(2) 関東ブロックスポーツ少年大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

8 埼玉県スポーツ少年団表彰

授賞式は新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔事業内容〕埼玉県及び県内市町村においてスポーツ少年団の育成に尽力している者で、登録者として10年以上にわたり活動し、スポーツ少年団の育成に特に顕著な功績があり、認定員の資格を有する者で、今後も引き続き活動が期待できる者を表彰し、指導者の活動意欲を高揚するとともに埼玉県スポーツ少年団の充実・発展を図りました。

〔実施時期〕令和3年12月18日(土)

〔実施会場〕スポーツ総合センター

〔受賞者〕44市町82名 南部：8市30名 西部：18市町22名
北部：7市町11名 東部：11市町19名

9 日本スポーツ少年団顕彰

〔受賞者〕団体(本部)6市町 指導者5名

10 スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たち」の発刊

〔事業内容〕県スポーツ少年団で行った事業内容や、調査結果等を集約し、日頃のスポーツ動等への理解を深め、今後の活動に役立てるために情報提供を行なった。

〔発刊及び作成部数〕年3回(No.57・No.58・No.59)各6,000部

〔発刊時期〕 7月・12月・3月

〔配布対象〕 市町村 63 本部及び 1,590 団(令和3年度登録団数)

〔経 費〕 印刷製本費・通信運搬費

公 4 スポーツ総合センター運営事業

1 スポーツ総合センターの管理・運営

(1) 施設利用に係る受付業務

体育施設、研修施設、宿泊施設の利用について、年間の利用調整、利用申請の受付、施設使用料の徴収などを行った。

(2) 施設設備の維持管理

建物や設備の維持管理を行うとともに、業務委託契約に係る業務進捗状況等の確認を行った。

(3) トレーニング場利用者講習会（月 2 回）

トレーニング場を個人利用するための講習会を行った。

参考 施設利用者数

施 設	利用者数	施 設	利用者数
体育館	31,982 名	講堂研修室	28,552 名
多目的室	11,818 名	その他	2,051 名
体育実習室	5,406 名	宿泊施設	1,721 名
トレーニング場	10,174 名		
テニスコート	3,065 名	計	94,769 名

収 1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

月	利用者数	本会収益 (15%)
4月	4,229名	626,550円
5月	5,448名	
6月	2,266名	
7月	1,752名	454,110円
8月	1,665名	
9月	4,468名	
10月	4,599名	698,820円
11月	5,476名	
12月	2,973名	
1月	5,779名	909,450円
2月	4,353名	
3月	7,165名	
合計	50,173名	2,688,930円

収 2 アイスアリーナの管理運営

本会が事業主体となって、さいたま水上公園内にアイスアリーナを整備し、運営を付した施設の貸出しを行なう事で、公園の機能の増進に資することにより、氷上スポーツの普及・振興と競技力の向上を図った。

月\入 場者	一般	校外	団体	定期	教室	クラブ	観覧等	貸切	合計
4月	1,956	0	571	347	1,044	2,088	1,140	2,954	10,100
5月	2,070	7	701	324	998	2,035	1,205	3,631	10,971
6月	2,782	191	592	312	1,060	2,209	441	3,834	11,421
7月	2,954	155	574	311	960	2,702	405	3,957	12,018
8月	3,352	0	623	468	912	2,858	519	2,636	11,368
9月	2,375	0	584	385	803	2,511	277	2,784	9,719
10月	2,280	192	491	374	793	2,316	266	3,705	10,417
11月	2,429	460	523	371	662	1,863	246	2,943	9,497
12月	3,661	169	992	418	1,033	2,351	347	2,913	11,884
1月	4,594	0	1,300	292	918	2,103	414	2,477	12,098
2月	4,241	618	1,517	266	866	2,139	392	2,079	12,118
3月	4,653	332	1,506	277	918	2,730	375	2,977	13,768
合計	37,347	2,124	9,974	4,145	10,967	27,905	6,027	36,890	135,379

法人 県スポーツ協会運営事業

1 諸会議

(1) 評議員会

定時 令和3年5月28日(金) 書面決議
臨時 令和4年3月25日(金) THE MARK GRAND HOTEL

(2) 理事会

定例第一回 令和3年5月12日(水) 書面決議
定例第二回 令和3年9月1日(水) スポーツ総合センター (on-line)
定例第三回 令和3年12月14日(火) スポーツ総合センター (on-line)
定例第四回 令和4年3月9日(水) スポーツ総合センター (on-line)

(3) 加盟団体協議会

第一回 令和3年5月14日(金) 書面決議
第二回 令和4年3月11日(金) 書面決議

(4) 市町村連絡会議 (I-3に掲載)

(5) 専門委員会

ア 総務委員会

第一回 令和3年5月7日(金) スポーツ総合センター
第二回 令和3年8月15日(水) スポーツ総合センター
第三回 令和3年12月7日(火) スポーツ総合センター
第四回 令和4年3月2日(水) スポーツ総合センター

イ 選手強化対策委員会

(ア) 強化対策委員会

第一回 令和3年4月30日(金) スポーツ総合センター
第二回 中止
第三回 令和4年1月13日(水) スポーツ総合センター

(イ) 常任委員会

期日：令和3年12月14日(月) スポーツ総合センター

(ウ) 競技力向上事業関係諸会議

- ・ 第1回選手強化対策委員会及び競技団体強化・経理担当者合同会議
期日：令和3年4月30日(火)
- ・ 選手強化対策特別委員会
期日：新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- ・ 第76回国民体育大会埼玉県選手団監督選手選考会議・監督会議
期日：新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- ・ 競技別強化対策会議
期日：令和3年11月29日(月)・11月30日(火)
会場：スポーツ総合センター
- ・ 彩の国アスリート育成推進会議
第一回 令和3年6月3日(木) スポーツ総合センター・online

第二回 令和3年10月19日(木) スポーツ総合センター・online

第三回 令和3年12月23日(木) 書面による審議

ウ 普及委員会

第一回 令和3年8月11日(水) スポーツ総合センター

第二回 令和3年11月26日(金) スポーツ総合センター

第三回 令和4年2月24日(木) スポーツ総合センター

エ 広報委員会

第一回 令和3年9月30日(木) スポーツ総合センター

オ スポーツ科学委員会

(ア) スポーツ科学委員会

第一回 令和3年4月27日(火) on-line

第二回 令和4年3月1日(火) on-line

(イ) 専門部会

・スポーツ科学 2回

・スポーツ医学 2回

・コーチング 4回

・アンチ・ドーピング 2回

(7) 諮問委員会

ア 顕彰委員会

第一回 令和3年4月23日(金) スポーツ総合センター

第二回 令和4年2月4日(金) スポーツ総合センター

(8) その他

ア スポーツ少年団

(ア) 本部員会

第一回 令和3年5月22日(土) on-line 併用

第二回 令和3年7月3日(土) on-line

第三回 令和3年10月16日(土) on-line

第四回 令和3年12月18日(土) スポーツ総合センター

第五回 令和4年3月22日(火) スポーツ総合センター

(イ) 代議員会

令和3年5月22日(土) 書面決議

(ウ) ブロック本部長会議

令和3年11月27日(日) on-line

(エ) スポーツ少年団専門委員会等(on-line 併用)

・指導者・リーダー育成委員会 9回

・企画広報委員会 12回

・活動交流委員会 9回

・指導者協議会評議員会 1回

・指導者協議会運営委員会 9回

・倫理委員会 3回

- ・種目別担当者会議 2回
- (オ)市町村スポーツ少年団事務担当者会議
期日：令和4年3月18日(金) 会場：スポーツ総合センター

イ 埼玉県スポーツ指導者協議会

- (ア)理事会
- 第一回 令和3年10月12日(火)
- 第二回 書面決議